

## 報告事項①

# 2018年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

## 1. 総務部

### (1) 行事

#### ① 通常社員総会の開催

- ・ 日時：2018年6月13日
- ・ 場所：学術総合センター内 一橋大学一橋講堂

#### ② 理事会の開催

- ・ 2018年5月17日、6月13日、8月21日、11月22日、2019年3月14日
- ・ 電磁的記録による理事会審議：なし

#### ③ 執行部会の運営事務

- ・ 2018年5月1日、6月25日、8月2日、11月12日、2019年2月28日

#### ⑤ 代議員選挙の運営事務

- ・ 選挙管理委員会：(第1回)2018年12月26日、(第2回)2019年3月19日
- ・ 選挙公示：2019年1月11日、投票締め切り：3月12日、開票：3月19日、開票結果・当選者公示：3月29日

#### ⑥ 若手対策事業の実施：各支部への予算配分及び報告受領

### (2) 庶務

- ・ 社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・ 規則及び細則の改訂  
2018年11月22日理事会：地すべり学会規則、文書細則、支部運営細則、  
2019年3月14日理事会：地すべり学会規則、国内旅費細則、
- ・ 細則の制定  
2018年11月22日理事会：解説委員会運営細則  
2019年3月14日理事会：謝金細則
- ・ 内閣府の立入り検査(2018年9月3日)

### (3) 財務

- ・ 予算執行状況の確認
- ・ 決算書及び予算書の作成
- ・ 監査立ち会い：2018年5月9日

### (4) 広報

- ・ 学会ホームページの改訂
- ・ 解説委員会の運営

### (5) 部会

- ・ 2018年8月21日、メール審議(随時)

## 2. 事業計画部

### (1) 2018年度総会及びシンポジウムの開催

- ・ 日 程：2018年6月13日
- ・ 会 場：一橋大学一橋講堂
- ・ テーマ：豪雨を誘因とする土砂災害の予測と住民避難行動へのアプローチ

- ・意見交換会：一橋大学一橋講堂
  - ・参加人数：174名
- (2) 第57回研究発表会及び現地見学会の開催
- ① 県民講演会
- ・日程：2018年8月21日
  - ・会場：朱鷺メッセ
  - ・参加人数：109名
- ② 特別講演・研究発表会・意見交換会
- ・日程：2018年8月22日～8月23日
  - ・会場：朱鷺メッセ
  - ・参加人数：483名
  - ・特別講演：「地すべりからフォッサマグナの生い立ちを知る－防災ツールとしてのジオパーク－」 竹ノ内 耕(フォッサマグナミュージアム)
- ③ 現地見学会
- ・日程：2018年8月24日
  - ・見学コース：Aコース： 滝坂大規模地すべりの災害対策を学ぶ  
Bコース： 糸魚川流域における最近の地すべり災害と火山防災を学ぶ  
Cコース： 異常高圧地熱地帯の地すべりと土地利用を学ぶ
  - ・参加人数：79名
- (3) 2018年最近の地すべり・土石流災害調査報告会の開催
- ・日程：2018年11月22日
  - ・会場：一橋大学 一橋講堂
  - ・研究調査部と共催
- (4) 部会の開催
- ・日程：2018年4月16日、6月8日、8月23日、10月5日、12月5日、  
2019年2月8日
  - ・2018年度シンポジウムの準備と総括、2019年度シンポジウムの準備  
日程、会場、テーマ、話題、進行の検討
  - ・第57回研究発表会の準備と総括、第58回研究発表会の準備  
日程、会場、予算、運営、講演集、若手優秀発表賞の検討

### 3. 編集出版部

- (1) 日本地すべり学会誌編集委員会
- ① 編集委員会の開催 2018年4月～31年3月まで12回開催(月1回)
- ② 日本地すべり学会誌 Vol. 55. 3～56. 2 計6号の発行
- ・特集号「地すべり変動に影響を及ぼす地下水」
  - ・特集号「斜面災害の軽減に向けた社会科学的アプローチ」
  - ・特集号「岩盤崩壊・落石の評価と対策」
  - ・シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード101」の連載継続
  - ・シリーズ：「地すべり探訪」の連載継続
  - ・賛助会員による「わが社の技術」の継続
- ③ 技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦

#### ④投稿規定等の改訂

- ・資料-1「投稿原稿における費用および振込み先」の改訂(変更点:掲載料について、投稿時点で筆頭著者が学生会員の場合、すべてのページ単価を半額とする)
- ・資料-1の英語版をAppendix-Bとして作成

#### ⑤研究不正に対する対応(掲載論文の点検:継続中)

### (2)出版委員会

#### ①委員会の開催

- ・第1回:2018年5月9日

#### ②販売図書の管理について本年度計画作成(理事会報告)

#### ③「地震地すべり」(簡易印刷版)の販売開始

#### ④ホームページ用コンテンツの作成

- ・「LANDSLIDES IN JAPAN」(第1版~第6版)の収録地すべりリスト・地すべり概要(日本語)の整理

#### ⑤出版細則改訂に関する対応(理事会報告)

- ・著作権関係の整理
- ・事業計画部との調整

#### ⑥研究機関等への学会図書の寄贈

- ・2018年11月30日ホームページで公示
- ・2018年12月22日ホームページで報告

#### ⑦出版物発行申請書受付・対応 1件

## 4. 研究調査部

### (1)研究助成

2018年度の助成対象は継続2件である。

#### A 黒部峡谷の地形形成史と斜面防災への適用(2016~2018年度)

代表 柏木健司・・・3年目

#### B 地すべりの全域運動モニタリングで、その運動に寄与する作用を究明する

(2017~2019年度)

代表 渡邊達也・・・2年目

継続案件が2件あるため、2018年度の新規案件の募集は行わないこととした。

### (2)地すべり・土石流災害調査報告会

2017年度に学会員が実施した緊急災害調査等の内容について地すべり・土石流災害調査報告会を開催した。日程等は以下の通りである。

- ・日時:2018年11月22日15時00分~17時00分
- ・場所:一橋大学 一橋講堂
- ・参加人数:72名
- ・報告内容:

開会あいさつ (山邊康晴)

2018年7月豪雨により岐阜県下呂市周辺で発生した斜面崩壊と土石流(平松晋也)

2018年7月豪雨による愛媛県宇和島市で発生した斜面崩壊(中谷仁)

北海道胆振東部地震により厚真周辺で発生した斜面崩壊(石丸聡)

追加質疑

### (3) 研究委員会の活動

2018年度は以下の研究委員会活動を実施した。

① 斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会(代表：笹原克夫)  
前年度実施した公募により26名の委員が決定し、今年度より実質的な委員会活動を開始した。  
2018年8月6日、2018年12月11日と2019年3月7日の3回委員会を開催した。  
また以下の4つの研究委員会の委員公募を行った。

② 雪氷圏の地すべり研究委員会(代表：岡本隆) 2018年8月5日～9月30日公募

③ 地震時地すべり研究委員会(代表：土井一生) 2018年8月5日～9月30日公募

④ すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会(代表：中村真也)

2019年2月1日～3月29日公募

⑤ 地すべり地形判読の先端的な技術伝承手法の開発研究委員会(代表：佐藤剛)

2019年2月1日～3月29日公募

公募により上記②③の研究委員会の委員は、各々21名と18名となった。

### (4) 研究調査部会

① 部会を以下の通り開催した。

・日時：2018年8月21日12時30分～14時00分

・場所：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 22階小会議室 204会議室

② メール審議を以下の様に開催した。

・2018年4月29日 研究委員会の公募

・2018年5月2日 部員の交代について

・2018年5月21日 研究委員会の委員公募

・2018年7月23日 研究委員会及び研究助成に関する内規

・2018年7月23日 研究委員会及び研究助成に関する内規

・2018年10月4日 委員の交代のご提案

・2018年10月18日 委員の交代のご提案

・2019年1月8日 研究委員会の公募 2018年度第2回

## 5. 国際部

### (1) 2018年度定例会議 ICL 拡大会議

(2018年8月23日、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター)

① 日本地すべり学会として提出した4セッションに関する説明と意見徴収を行った。  
国内企業の積極的な参加を呼びかける方針となった。

② 国際協力セッションは海外の発表者を呼びかけるが参加者確保のため、日本語での発表も可能とする。

③ 防災行政セッションは国内省庁からの発表が中心となることから、早めの準備が重要となる。

④ 防災技術紹介セッションは企業展示ブースとのリンクを模索する方針とする。企業ブースの出展費用や参加可否は9月ICL後のアンケートを検討する。

⑤ 地域防災セッションは防災行政セッション同様に準備作業を継続している。

### (2) 活動内容

① 斜面防災世界フォーラム(2020):WLF5 組織委員会・準備会議

② IPL 関連業務(ICL 総会出席等)への適宜対応

- ③ 学術雑誌 Landslides の編集作業協力
  - ④ その他の協力
- (3) その他の継続審議課題の検討
- ・新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
  - ・SATREPSに関連したシンポジウムの企画
  - ・日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝の可能性
  - ・研究調査部会の「技術指針の国際対応」委員会との連携

## 6. 表彰委員会

- (1) 学会賞(論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞)の審査表彰委員会にて審議
- 論文賞：該当無し、技術報告賞：神原 規也(株式会社 エイト日本技術開発)、桂 真也(北海道大学)、査読者賞：森屋 洋(奥山ボーリング株式会社)、研究奨励賞：該当なし、谷口賞：該当なし、国際賞：該当なし、学会活動貢献賞：日本地すべり学会シニア会(団体)
- (2) 理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：2018年5月17日
- (3) 第57日本地すべり学会研究発表会の表彰式で表彰状授与：2018年8月22日
- (4) 2019年度の候補募集
- ・会員向けメール、学会誌(Vol. 55, No. 6)、及び学会ホームページで推薦公募締め切り：2019年3月1日

## 7. 会員数対策 WG

- (1) 若手対策 WG
- 若手対策事業の実施(各支部主催)
- ・北海道支部  
実施事業：若手会の新設準備(活動内容の対象者への呼びかけ及び運営委員の構成、企画内容の検討)※北海道胆振東部地震のため具体的な活動を次年度に延伸  
日時：2018年7月12日～2019年3月31日
  - ・東北支部  
実施事業：「斜面変動研究の次世代コロキウム」  
日時：2018年6月30日～2019年3月9日(計5回)  
参加者数：若手のべ58名、ベテランのべ31名
  - ・関東支部  
実施事業：「基礎技術現地見学会・講習会」  
日時：2018年11月16日  
参加者数：28名
  - ・中部支部  
実施事業：地すべり地オリエンテーション in 茶臼山  
日時：2018年10月27日  
参加者数：59名(うち学会正会員14名)
- (2) シニア対策 WG
- ・2018年4月23日、6月18日、8月22日、11月2日、12月26日、2019年1月21日、3月18日：運営会
  - ・2018年6月23日：春期談話会(講師：安養寺信夫氏、参加者25名)
  - ・2018年11月10日：房総半島中南部地区巡検(参加者22名)

## 8. ICL 委員会

- (1) 第1回委員会 2018年5月24日 学会会議室 参加者9名  
 ・CDセッション準備状況
- (2) 第2回委員会 2018年8月23日 朱鷺メッセ小会議室 参加者9名  
 ・CDセッション準備状況

## 9. 解説委員会

災害発生時の緊急マスコミ対応や一般市民からの問合せなど、以下の案件に対応した。

案件	日時	依頼元	内容	主 対応者
大分県 中津市の 山崩れ	2018/ 4/11	時事通信) 社会部	雨は降っていないのになぜ崩れたか?この点について専門家の意見を聴きたい。	榎田充哉
		TBS) 朝チャン		佐藤剛
		NHK 大分) 放送部		福岡浩
		読売新聞) 東京本社) 科学部		落合博貴
		日テレ) ニュースエブリ		佐藤剛
		日テレ) ZIP		佐藤剛
		フジテレビ) プライムニュース		落合博貴
		日テレ) スッキリ		古谷尊彦
		NHK) 社会部		落合博貴
	TBS) ビビット	榎田充哉		
	4/29	一般市民	自宅が危ない。良い方法は?	福岡浩
	4/30	一般市民	原因について意見を述べた	榎田充哉
	5/10	朝日新聞) 西部報道センター		落合博貴
福島県 喜多方の 地すべり	5/28	TBS) Nスタ	地すべりの要因、融雪が原因?今後の展望や対策	八木浩司
		TBS) ひるおび		福岡浩
	5/29	日テレ) ニュースエブリ "テレ朝) 羽鳥慎一 モーニングショウ"		落合博貴
北海道 胆振東部 地震	9/6	日本テレビ報道局	今回なぜこんなに大きな被害がでたのか?	八木浩司
		時事通信	大規模土砂災害のメカニズムは?	
その他	9/14	一般市民	矢代川上流の地すべりについて教えて欲しい	秋山一弥
その他	2019 1/10	一般市民	住宅の杭に働く土石流	石川芳治
その他	2/21	一般市民	地下水の挙動に関する書籍	榎田充哉

## 10. 学会特別研究

- (1) 特別研究員雇用 雇用期間 2018年4月1日~2019年3月31日
- (2) 研究課題 降雨浸透による岩盤の変形, 不飽和泥岩内部の水分移動等の解析
- (3) 研究成果 房総半島鋸山の地殻変動観測坑での観測記録の解析により, 降雨量と歪及び荷重との変化の相関性を定量的に示した. また, 台湾南西部の鮮新-更新統泥岩内部の水分・塩分移

動についての解析では、地温勾配による水蒸気の岩盤内部の移動が含水率・塩分濃度に影響を与えている可能性を示した。

(4) 成果発表

- 1) Higuchi, K., Chigira, M., Lee, D., Wu, J. (2018) Analysis of salt transportation through unsaturated mudstone near the slope surface in badlands, southwestern Taiwan, American Geophysical Union, ワシントン D.C.
- 2) 樋口衡平, 徳永朋祥, 加藤照之, 島田誠一, 愛知正温 (2018) 千葉県鋸山での降雨荷重による岩盤変形機構, 日本地すべり学会第 57 回研究発表会新潟大会, 新潟市.
- 3) 樋口衡平, 徳永朋祥, 加藤照之, 愛知正温, 島田誠一 (2018) 降雨による岩盤の歪とその地域特性との関連性, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, 千葉市.

(5) 出張

- 2018 年 4 月 2-5 日: 東大柏キャンパス, GPS 講習会
- 2018 年 4 月 16-17 日: 東大柏キャンパス, 研究打合せ
- 2018 年 5 月 1 日: 東大柏キャンパス, 研究打合せ
- 2018 年 5 月 23 日: 千葉市幕張メッセ, 日本地球惑星科学連合 2018 大会出席
- 2018 年 6 月 26 日: 筑波大学山岳科学センター, 研究発表
- 2018 年 8 月 21-24 日: 新潟市朱鷺メッセ, 日本地すべり学会第 57 回研究発表会出席
- 2018 年 12 月 8-13 日: ワシントン D.C., AGU2018 出席

## 11. 北海道支部

(1) 総会、研究発表会

- ・日 時: 2018 年 4 月 27 日
- ・参加者: 185 名(会員 56、一般参加 129)
- ・場 所: 北海道大学学術交流会館(札幌市)
- ・記念シンポジウム: 基調講演および話題提供(計 11 件)  
記念講演『斜面変動の発生要因』(応用地質(株)社友 上野将司氏)

(2) 第 1 回運営委員会

- ・日 時: 2018 年 7 月 12 日
- ・参加者: 26 名
- ・場 所: (国法)北海道大学農学部講義室 N11(札幌市)
- ・会議内容: 2018 年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他

(3) 第 2 回運営委員会

- ・日 時: 2019 年 1 月 29 日
- ・参加者: 31 名
- ・場 所: (国法)北海道大学農学部講義室 N12(札幌市)
- ・会議内容: 2018 年度事業報告・決算見込み報告、2019 年度 事業計画・予算(案)  
本部動向、その他(北海道胆振東部地震合同調査団)

(4) 5 学会連絡会 第 3 回定例会

- ・日 時: 2019 年 1 月 9 日
- ・参加者: 11 名(土木学会、地盤工学会、砂防学会、農業農村工学会、日本地すべり学会の北海道支部の役員および事務局)

- ・場 所：(国法)北海道大学農学部特別講義室 N103(札幌市)
- ・内 容：各支部の2018年度活動報告及び2019年度活動概要について  
今後の連携に関する意見交換について

(5) 巡検部活動

現地検討会「北海道横断道路「余市 IC～小樽 JCT」間での地すべり調査及び対策工の事例」

- ・日 時：2018年6月29日
- ・参加者：43名
- ・見学地：北海道横断道路「余市 IC～小樽 JCT」間、忍路及び朝里川
- ・案内者：本間 宏樹氏(応用地質株式会社、技術普及部部长)
- ・共 催：北海道地すべり学会、
- ・協 賛：(一社)北海道地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会北海道支部  
北海道地すべり防止工事士会

(6) 広報部活動

- ・研究発表会予稿集編集(4月)、ホームページ運営、各種広報活動(通年)

(7) 技術普及部活動

技術講習会

- ・日 時：2018年7月20日
- ・参加者：41名
- ・場 所：北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 地質研究所(札幌市)
- ・講習内容：『空中写真判読方法』(大地コンサルタント(株) 寺井康文氏)  
『ボーリングコアの観察方法』(応用地質(株) 本間宏樹氏)

(8) 緊急災害調査の実施

- ・日 時：2018年9月29日、10月18、19日
- ・参加者：26名 (一社)日本応用地質学会地震災害調査団と合同
- ・場 所：北海道胆振東部地震による斜面災害箇所(厚真町、むかわ町他)

(9) 対外(北海道地すべり学会)協力

① 普及活動

(イ) 地すべり防災授業『山地防災教育 野外巡検』(高校への出前授業)

- ・日 時：2018年6月6日
- ・対 象：北海道岩見沢農業高校森林科学科3年生40名、教職員4名

(ロ) 山地防災キャンペーンでの地すべり模型展示・実演

(主催：北海道水産林務部林務局治山課)

- ・日 時：2018年5月31～6月1日
- ・対 象：一般市民
- ・場 所：北海道庁1階ロビー(札幌市)

(ハ) ジオ・フェスティバル in Sapporo 2018 での地すべり模型を展示・実演

(主催：ジオ・フェスティバル実行委員会)

- ・日 時：2018年10月6日
- ・対 象：一般市民
- ・場 所：札幌市青少年科学館(札幌市)

(ニ) 普及活動 案内者：北海道土木設計(株) 中鶴真也氏、明治コンサルタント(株) 溝上雅宏氏、  
(株) ズコーシャ 佐々木大氏、(株) ノース技研 沼田寛氏、国土防災技術北海道(株) 足立



辰也氏、(株)シビテック 柴田純氏、丸山翔平氏、日本工営(株) 阿部大志氏、(株)開発調査研究所 磯貝晃一氏、伊藤和伯氏、技術士事務所ジオプラ 清水順二氏、防災地質工業(株) 雨宮和夫氏、和光技研(株) 宿田浩司氏、(株)地圏総合コンサルタント 銭谷竜一氏(順不同)

## ②研究調査委員会

- ・日 時：2018年12月20日
- ・参加者：33名
- ・場 所：寒地土木研究所 講堂(札幌市)
- ・内 容：『日本応用地質学会北海道支部・日本地すべり学会北海道支部胆振東部地震災害合同調査速報会』
  - 「被災地域のテフラの分布」 地質研究所 廣瀬 亘氏
  - 「胆振東部地震により厚真周辺で発生した斜面崩壊」 地質研究所 石丸 聡氏
  - 「支笏湖畔の斜面崩壊」 寒地土木研究所 伊東佳彦氏
  - 「胆振東部地震による斜面変動の地質学的分類」(株)ドーコン 田近 淳氏
  - 「土砂崩壊多発箇所(厚真町東和地区など)」 (株)基礎地盤コンサルタンツ 知本康男氏
  - 「ダム施設の被害(厚真ダム、厚幌ダム、瑞穂ダム)」 寒地土木研究所 伊東佳彦氏
  - 「むかわ岩盤地すべりほか」 防災地質工業(株) 雨宮和夫氏

## ③技術委員会

### 第1回技術委員会

- ・日 時：2019年1月25日
- ・参加者：40名
- ・場 所：松崎南1条ビルディング 2F 会議室(札幌市)
- ・内 容：話題提供および技術委員会活動について
  - 「胆振東部地震による斜面災害・高速すべりのメカニズムと安定度」 防災地質工業(株) 雨宮 和夫 氏
  - 「胆振東部地震により厚真周辺で発生した地すべり」 地方独立行政法人 北海道立地質研究機構 地質研究所 石丸 聡 氏
  - 「自然斜面補強土工法「ユニットネット工法」について」(株)ダイカ 寺岡 克己 氏

## 12. 東北支部

### (1)支部総会

- ① 日 時 2018年4月16日 13:00~13:45
- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
- ③ 参加者 80名

### (2)シンポジウム

- ① 日 時 2018年4月16日 14:00~17:30
  - ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
  - ③ 参加者 219名
  - ④ テーマ 「高精度地形データの地すべり調査での活用と方向性」 (CPD: 3.25時間)
- 基調講演 「国土地理院の地形計測—これまでとこれから—」

国土地理院地理地殻活動センター長 宇根 寛 氏

○ 講演

- ・「地形図革命をいかに生き残るか！」 山形大学地域教育文化学部教授 八木浩司 氏
- ・「UAV 空撮による高分解能 DSM データの地すべり調査での活用事例」  
国土防災技術(株)技術本部第二技術開発センター長 土佐信一 氏
- ・「航空レーザ測量を活用した斜面変動の調査と対策」 国際航業(株)大粒来茂樹 氏
- ・総合討論：司会 八木浩司 氏(山形大学)、池田浩二 氏((株)東北開発コンサルタント)  
話題提供(株)東北開発コンサルタント 池田浩二 氏「DEM データの活用事例」

(3)意見交換会

- ① 日 時 2018年4月16日 18:00～20:00
- ② 場 所 グランテラス仙台国分町
- ③ 参加者 64名

(4)会議等

① 役員会

- ・第1回役員会、兼巡検計画委員会(2018年6月14日 戦災復興記念館会議室 14名)  
岩手宮城内陸地震10年メモリアル国際シンポジウムの開催、事業計画及び事業実施状況の確認、支部運営規則及び表彰規定の改定、2018年度現地検討会実施計画案(巡検計画委員会)に関する協議
- ・第2回役員会(2019年2月13日 東北工業大学一番町ロビー 8名)  
2019年度支部総会及びシンポジウム日程調整、事務局移転について、事業実施状況に関する協議

② 幹事会

- ・第1回拡大幹事会(2018年8月17日 仙台市民会館会議室 24名)  
地すべり現地検討会の計画及び実施要領策定、支部規則及び表彰規定改定に関する協議
- ・第2回拡大幹事会(2019年2月13日 仙台市 東北工大一番町ロビー 20名)  
2018年度事業報告及び決算(案)、2019年度事業計画及び収支予算(案)、支部規則及び表彰規定改定、事務局移転に関する協議

③ 運営委員会(2019年3月15日 仙台市 復建技術コンサルタント会議室 19名)

2019年度支部総会議案書の審議、事務局移転及び幹事等人事の承認に関する協議

(5) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」(事業企画委員会)

- ① 趣 旨 支部若手会員の技術的交流の場として分科会活動を継続、拡大し、学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、支部の会勢拡大に繋げる。今年度は5回実施されており、2019年度も継続して実施する予定。  
また、本部の「若手会員対策費」を活用して事業展開した。

② 開催日 概ね2ヶ月毎に開催し、合計5回開催

第1回：6月30日 趣旨・方針説明、分科会参加者自己紹介 参加19名

第2回：8月4日 国土防災技術(株)試験研究所訪問、分科会報告 参加21名

・すべり面粘土、結晶片岩地域での単純せん断試験器の適用

第3回：9月22日 分科会報告 参加12名

第4回：11月17日 岩手大学工学部大河原研究室訪問 参加15名

・透水係数、せん断強度、粘土の膨潤などについて

第5回：3月9日 「GISを用いた地形・水文解析演習」 参加23名

・松四雄騎准教授(京都大学防災研究所)を招いて、地形の半自動区分や簡単な水文解

## 析など技術演習形式的に開催

### (6) ミニ巡検の開催(事業企画委員会)

- ① 趣 旨 「海底地すべりの露頭巡検」をテーマに秋田県横手市周辺の代表的な露頭を巡り、地層中に見られる海底地すべりなどの異常堆積構造の成因を考えるとともに、若手会員間の親睦を深めた。
- ② 開催日 2018年4月26日～27日
- ③ 参加者 支部コロキウムメンバーを中心に15名

### (7) 東北支部地すべり現地検討会(巡検計画委員会)

- ① 期 日 2018年9月27日～28日
- ② 場 所 青森県北津軽郡中泊町「権現崎地すべり・下前地すべり」
- ③ テーマ 「滑動中の地すべりを観る・記録する・考える」
- ④ 参加者 53名(女性5名、男性48名)
- ⑤ 検討会 稲垣温泉ホテル花月亭
  - ・未対策のまま放置された権現崎地すべりについて現地を踏査し、地すべり地形の抽出とブロック区分、発生機構について検討した。また、概成し監視段階に入った地すべりにおける管理のあり方について討論した。
- ⑥ CPD 学会認定単位に加えて、建設コンサルタンツ協会認定を取得(6.83単位)

### (8) 災害派遣調査(巡検計画委員会)

2018年5月に福島県喜多方市揚津地区で発生した地すべり災害に対して、緊急現地調査(5月31日、参加20名)を行い、調査結果を踏まえて地すべり調査や応急対策、推察される発生機構等について担当部局に提言した。

その後も水文調査やUAVによる移動量調査などを継続し(第2回:5名、第3回:2名)、学会誌に寄稿するとともに、全国大会(新潟市)ではパネル展示を行った。

### (9) 広報活動等(広報委員会)

- ① 支部だより第29号の発行(2018年12月20日)
- ② 支部ホームページの更新、情報発信
  - ・東北支部関連の各種事業開催案内、委員会活動報告等の掲載など

### (10) 関連団体との連携・地域貢献

- ① 宮城県砂防ボランティア協会研修会へ講師派遣
  - ・期 日 2018年5月16日
  - ・講 師 池田 一 氏(日本工営(株)仙台支店)
  - ・演 題 「蔵王火山における火山噴火緊急減災対策と近年の火山噴火時の対応について」
- ② 福島県会津農林事務所研修会へ講師派遣
  - ・期 日 2018年6月29日
  - ・講 師 熊井直也 氏(国土防災技術(株)福島支店)
  - ・題 目 「地すべりに関する基礎知識(発生機構・調査方法・対策工)」
- ③ 「岩手宮城内陸地震10年メモリアル国際シンポジウム」の開催
  - 震災発生から10年を迎え、地域の復興の兆しが見えつつあり、ジオパーク活動と学校の総合学習・防災教育との協働も定着する中で、「地震による斜面災害の実際と克服の工夫」と題して国際シンポジウムと現地視察を行った。
  - ・期 日 2018年7月6日～7日

・栗原市「栗駒山麓ジオパーク協議会」との共催

### 13. 新潟支部

#### (1) 2018 年度支部総会

- ・開催日：2018 年 6 月 1 日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール(新潟市)

#### (2) 第 46 回地すべりシンポジウム

- ・主 催：(公社)日本地すべり学会新潟支部
- ・共 催：(公社)地盤工学会 北陸支部
- ・後 援：新潟県、(一社)新潟県地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会新潟支部、新潟県地すべり防止工事士会
- ・開催日：2018 年 6 月 1 日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール(新潟市)
- ・テーマ：新潟および近隣地域における最近の地すべり災害
- ・参加者：96 名

#### (3) 新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版の出版

2018 年 6 月 1 日、2018 年版を出版(2017 年に発生した地すべり災害記録を追加)

#### (4) 新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

#### (5) 新潟県地すべり対策研究会への参加

2018 年 11 月 5 日、技術部会(十日町市内の集水井視察)、支部から 6 名参加

2019 年 3 月 13 日、総会及び技術部会(新潟市)、支部から 2 名参加

#### (6) 支部出版物の電子化

2018 年 8 月 21 日、これまでに出版した冊子を電子化してまとめた  
第 57 回研究発表会の参加者に配布

#### (7) 会議記録

##### 幹事会

- 第 1 回 2018 年 6 月 15 日開催、18 名出席
- 第 2 回 2018 年 7 月 12 日開催、21 名出席
- 第 3 回 2018 年 8 月 6 日開催、19 名出席
- 第 4 回 2018 年 8 月 17 日開催、11 名出席
- 第 5 回 2018 年 9 月 18 日開催、15 名出席
- 第 6 回 2018 年 12 月 21 日開催、10 名出席
- 第 7 回 2019 年 1 月 26 日開催、11 名出席

### 14. 関東支部

#### (1) 総会

開催日：2018 年 5 月 7 日 11:00～12:00

場 所：東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール(東京都)

参加者：出席者数 39 名 委任状数 94 名 計 133 名(定足数 85 名以上)

#### (2) シンポジウム

開催日：2018 年 5 月 7 日 12:45～16:45

場 所：東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール(東京都)

参加者：145名

テーマ：シンポジウム「地形・地質からみた関東の地すべり」

- ・ 関東の地質と斜面災害 稲垣秀輝(株式会社環境地質)
- ・ 空から見る関東の地すべり地形 井口隆(防災科学技術研究所)
- ・ 群馬県烏川中流域の巨大地すべり地形 中里裕臣(農業・食品産業技術総合研究機構)
- ・ 箱根神山の水蒸気爆発と岩屑流 中村三郎(防衛大学校名誉教授)
- ・ 総合討論(コーディネータ：櫻井正明)
- ・ 概要集発行

(3)意見交換会

開催日：2018年5月7日 17:15～19:15

場 所：東京大学農学部レストランアブルボア(東京都)

参加者：62名

(4)現地検討会

① 第1回現地検討会—人口集中地区(DID)における地すべり対策事業—

開催日：2018年9月4日 9:15～15:30

場 所：神奈川県三浦郡葉山町大沢及び堀内

協 力：神奈川県横須賀土木事務所

参加者：20名

② 第2回現地検討会—土石流対策の契機となった山梨県足和田災害—

開催日：2018年10月10日 10:40～16:30

場 所：山梨県南都留郡富士河口湖町

協 力：山梨県県土整備部砂防課

参加者：15名

(5) (一社)斜面防災対策技術協会との共催事業

① 群馬県少林山地すべり合同見学会

開催日：2018年11月9日 12:30～16:30

場 所：群馬県高崎市鼻高町

主 催：(公社)日本地すべり学会 関東支部、(一社)斜面防災対策技術協会 関東支部

協 力：群馬県県土整備部砂防課、高崎土木事務所

参加者：57名

(6)技術講習会

①基礎技術現地見学会・講習会—地すべり技術基礎講座 地すべり地形の見方を学ぶ講習会—

開催日：2018年11月16日 9:45～17:00

場 所：山梨県西八代郡市川三郷町 神有、湯ノ岡、台地区

・ 座学：「地すべり地形の見方」上野将司(関東支部技術委員)

・ 現地見学：各地区の現地踏査と南部フォッサマグナの地形見学

協 力：山梨県峡南建設事務所

参加者：28名(会員10名、非会員18名)

(7)運営委員会・幹事会

① 運営委員会

・ 第1回 2018年4月19日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者15名

- ・第2回 2018年12月7日 三番町UFビル1Fセミナー室(東京都)出席者13名

## ② 幹事会

- ・第1回 2018年4月19日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者16名
- ・第2回 2018年5月21日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者12名
- ・第3回 2018年6月21日 日本工営会議室(東京都)出席者16名
- ・第4回 2018年8月31日 ダイヤコンサルタント会議室(東京都)出席者16名
- ・第5回 2018年12月7日 三番町UFビル1Fセミナー室(東京都)出席者13名
- ・第6回 2019年3月22日 日本工営会議室(東京都)出席者13名

## (8) 広報活動等

- ・関東支部 Web ページ更新

## (9) 2020年度研究発表会の準備

- ・開催日及び会場の仮予約

## 15. 中部支部

### (1) 運営委員会

2018年4月20日

- ・場 所：長野ホテル犀北館(長野市)
- ・出席者：15名

### (2) 支部総会及び特別講演

2018年4月20日

- ・場 所：長野ホテル犀北館(長野市)
- ・講 演：「牛伏川砂防と活動の歩み」  
牛伏鉢伏友の会代表 加藤輝和 氏  
「牛伏川にみる近代砂防技術」  
土木・環境しなの技術支援センター理事 山浦直人 氏
- ・参加者：165名

### (3) 2018年度岐阜豪雨災害調査団派遣

2018年8月27日

- 国土交通省中部地方整備局等と締結した「災害時における調査及び技術支援等の相互協力に関する協定」に基づく災害調査
- ・場 所：岐阜県下呂土木管内
  - ・参加者：5名(平松晋也 支部長ほか4名)

### (4) 現地見学会

2018年9月21日

- ・場 所：岐阜県揖斐郡揖斐川町櫛原地区(一般国道417号地すべり対策事業)
- ・参加者：34名

### (5) 交流学習会(若手育成事業)

2018年10月27日

- ・場 所：長野市茶臼山公園(茶臼山地すべり)
- ・テ ー マ：「地すべり地オリエンテーリング大会 in 茶臼山」
- ・屋内学習：「茶臼山地すべりに携わって」  
元土尻川砂防事務所課長 清水貞良 氏

「干渉 SAR を活用した動態観測」

長野県林務部 米山雄樹 氏

・屋外学習：「オリエンテーリング大会(現地検討会、講評、表彰式を含む)」

・参加者：59名

(6) 2018年度岐阜豪雨災害調査報告会

2018年11月7日

平松晋也 支部長が支部代表(パネリスト)としてパネルディスカッションに出席

・場所：名古屋大学(IB電子情報館 大講義室)

・主催：2018年度岐阜豪雨災害調査団

・後援：国土交通省中部地方整備局，岐阜県

(7) 中部支部シンポジウム

2018年11月16日

・場所：ホテル国際21(長野市)

・テーマ：「頻発する異常降雨と激甚化する土砂災害」

・講演：「西日本豪雨災害の現状報告 中国地方」

国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所 調査課長 石田哲也 氏

「西日本豪雨災害の現状報告 四国地方」

日本工営(株) 四国支店長 飯沼達夫 氏

「西日本豪雨災害の現状報告 岐阜県下呂土木管内」

日本地すべり学会中部支部幹事 山田泰弘 氏

・総合討論：「激甚化する気象災害、頻発する大規模災害～中部地方の今後について」

パネリスト 松本砂防事務所 調査課長 石田哲也 氏

長野県建設部 砂防課長 田下昌志 氏

(一財)日本気象協会 長野支店 気象予報士 大井昌茂 氏

日本工営(株) 四国支店長 飯沼達夫 氏

日本地すべり学会中部支部 顧問 土屋智 氏

コーディネーター 日本地すべり学会中部支部 支部長 平松晋也 氏

・参加者：136名

(8) 中部支部ニュース発行

2019年3月31日

(9) 幹事会

2018年4月13日：長野県土木センター(出席者 13名)

2018年8月7日：長野県土木センター(出席者 11名)

2018年10月12日：長野県土木センター(出席者 11名)

2019年1月18日：長野県土木センター(出席者 21名)

## 16. 関西支部

(1) 第1回運営委員会

①日時：2018年4月6日

②場所：京都大学防災研究所 E-417D

③出席者：16名

④議事：

報 告

2017年度第2回運営委員会議事録

2017年度支部事業報告(案)

2017年度行事関係会計報告(案)

会誌「らんどすらいど」No.33

協賛会員名簿

2017年度支部決算報告(案)

その他

議 題

2018年度事業計画(案)

2018年度予算計画(案)

その他

(2)若手研究発表会

①日時：2018年4月16日15:00～18:00

②場所：京都大学防災研究所

③参加者：8名

④講演者とタイトル

・Prakash Dhungana(島根大学理工学研究科) 「Risk assessment of landslide dam」

・Kounghoon Nam(島根大学理工学研究科)

「Landslide susceptibility mapping using GIS and remote sensing」

・Ran Li(島根大学理工学研究科)

「In situ stress characteristics in west coast of Taiwan Strait」

・Shuai Zhang(島根大学理工学研究科)

「A hybrid approach of GIS and Scoops3D for landslide stability

analysis in Shimane prefecture」

・土井 一生(京都大学防災研究所)

「斜面の揺れ方の多様性について」

(3)春のシンポジウム「施設長寿命化の方法と限界」開催

①日時：2018年4月17日10:00～17:00

②場所：大阪建設交流館

③主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④後援：(公社)砂防学会・(公社)地盤工学会関西支部

(一社)建設コンサルタント協会近畿支部

⑤参加者：67名

⑥講演者とタイトル

<基調講演>

防災施設の維持管理と長寿命化の目指すもの

京都大学大学院工学研究科 杉山 友康

<話題提供>

(イ)高速道路の防災施設の長寿命化について

株式会社高速道路総合技術研究所 藤原 優

(ロ)橋梁分野における長寿命化計画と維持管理について



復建調査設計(株) 鈴木 智郎

(ハ)地すべり防止施設の長寿命化について

林野庁森林整備部治山課 岸 功規

(ニ)水抜きボーリングの機能回復に関する調査事例と評価方法について

応用地質(株) 北原 哲郎

・パネルディスカッション 「地すべり防止施設の長寿命化が目指すもの」

司会 太田英将(太田ジオリサーチ) パネラー 話題提供者

(4)関西支部 総会

①日時：2018年4月17日 11:40～12:00

②場所：大阪建設交流館

③議題：2017年度活動報告

2017年度決算報告

2018年度予算・活動計画

(5)講習会

①日時：2018年6月15日

②場所：Progresso eventroom

③主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④後援：(公社)砂防学会 中四国支部

(一社)斜面防災対策技術協会 四国支部

(一社)建設コンサルタンツ協会 四国支部

(公社)地盤工学会 四国支部

⑤参加者：25名

⑥講演者

・開会挨拶

高知大学教育研究部自然科学系 笹原克夫

・QGIS操作演習 - QGISを用いた地すべり地形解析-

国土防災技術(株) 龍見栄臣

・閉会挨拶

(株)地研 中根久幸

(6)2018年度現地見学会及び現地討論会「名取トンネル地すべりの被災と対策」

①日時：2018年10月26日～10月27日

②場所：愛媛県西宇和郡伊方町 名取トンネル地すべり

③主催：(公社)日本地すべり学会関西支部

④後援：愛媛県

公益社団法人 砂防学会 中四国支部

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

一般社団法人 斜面防災対策技術協会 四国支部

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 四国地質調査業協会

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 四国支部

⑤参加者：34名

⑥講演者とタイトル

〈特別講演〉

「地震時地すべり・斜面崩壊ハザード解析例 ～南海トラフ巨大地震による四国地域主要

道路周辺の地すべり地形斜面崩壊ハザード～」

愛媛大学社会共創学部・環境デザイン学科准教授 ネットラ・プラカシュ・バンダリ  
<話題提供>

(イ)佐田岬半島の地形・地質 (株)ナイバ 木村 一成

(ロ)近接する地すべり防止地区「名取地区」の概要

(株)愛媛建設コンサルタント 田窪 裕一

～休憩 10 分～

(ハ)名取トンネル地すべり災害復旧と対策 (株)エスイー 原田 敏雄

(ニ)名取新設トンネルと地すべりの概要 日本工営(株) 柴崎 宜之

・パネルディスカッション 司会

(株)愛媛建設コンサルタント 増田 信

パネラー 特別講演者と話題提供者

#### (7)第2回運営委員会

①日時：2018年11月2日

②場所：京都大学防災研究所 E-417D

③出席者：8名 委任状10名

④議事

報 告

2018年度第1回運営委員会議事録

2018年度支部事業報告

シンポジウム

講習会

現地討論会

行事関係会計

2018年度今後の事業予定

会誌「らんどすらいど」No.34

#### (8)「らんどすらいど34」会誌の発行・発送

①日時：2019年2月22日

②執筆者とタイトル

・斜面問題にも有効な地盤調査法「表面波探査」および「微動アレイ探査」の紹介

美馬 健二, 川浪 聖志, 太田 英将(有限会社太田ジオリサーチ)

・大呂地すべり地の水質

日浦啓全(高知大学名誉教授)

・2017年度支部行事報告

・2017年度決算

・2018年度予算

・編集後記

松浦純生(京都大学防災研究所)

## 17. 九州支部

### (1)支部幹事会

・開催日：2018年5月31日 10:00～10:50

・会 場：福岡市(TKP ガーデンシティ博多アネックス)

- ・参加者：24名、委任状21名

## (2) 支部総会

- ・開催日：2018年5月31日 11:00～11:30
- ・会場：福岡市(TKP ガーデンシティ博多アネックス)
- ・参加者：40名

## (3) 支部学術講演会

- ・開催日：2018年5月31日 13:00～17:30
- ・会場：福岡市(TKP ガーデンシティ博多アネックス)
- ・主催：(公社)日本地すべり学会九州支部
- ・共催：(一社)斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会
- ・後援：国土交通省九州地方整備局、福岡県、(公社)地盤工学会九州支部、(一社)福岡県地質調査業協会
- ・参加者：85名
- ・講演：久保田 哲也(九州大学農学研究院)、ほか11件

### 基調講演

「H29 九州北部豪雨の流木と発生源崩壊などの特徴」

久保田 哲也(九州大学農学研究院)

「九州における最近の土砂災害について」

江口 秀典(国土交通省九州地方整備局河川部河川計画課)

「2017年7月九州北部豪雨による土砂災害に対する福岡県の取組み」

栗木 一光、奥 達二郎(福岡県県土整備部砂防課)

### 一般講演

「褐色火山灰土斜面の雨量と土壌水分の関係」

中村 真也、木村 匠(琉球大学農学部)、宮本 英揮、牧野 弘樹、平嶋 雄太(佐賀大学農学部)

「大分県豊後大野市一綿田地すべりの概要」

上妻 良昌、江藤 大、大鶴 泰史、川場 浩二((株)アイエステー)

「2017年九州北部豪雨により発生した乙石川流域における斜面崩壊の特徴について」

山本 茂雄(中央開発(株))、矢田 純((株)カミナガ)、矢野 健二((株)ジオテック技術士事務所)

「現地踏査に基づく日田市小野地区椰野対岸地すべり周辺の崩壊分布」

肘井 敬明、宮崎 精介((株)九州地質コンサルタント)

「鹿児島県深港地区の観測事例」

緒方 康浩、寺師 百枝、本田 信孝((株)日本地下技術)

「2018年4月11日大分県耶馬溪山崩れの原因究明」

後藤 恵之輔(長崎大学名誉教授)、後藤 健介(大阪教育大学)

「結晶片岩地帯における農地地すべりの対策工検討事例ー2017年7月九州北部豪雨災害ー」

### 総合討論～よりよい防災・減災に向けて～

豪雨・地震時の警戒避難、事前対策、施設維持管理・長寿命化、防災教育ほか

座長：中村 真也(琉球大学農学部)

## (4) 支部現地見学会

- ・開催日：2018年6月1日 8:30～16:30

- ・場 所：福岡県朝倉市、東峰村

- ・参加者：46名

(5) 共催事業

2018年度 現場見学会(第10回)

- ・共 催：(一社)斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会

- ・開催日：2018年10月5日 8:10~18:30(博多駅集合解散)

- ・場 所：大分県日田市、豊後大野市

- ・参加者：35名

## 事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、附属明細書は作成しない。